



総市議第 22 号  
令和6年6月25日

総社市長 片岡 聡 一 様

総社市議会議長 村木 理 英



市が開催するイベントの見直しについて（申入れ）

片岡市政が始まって以来、多種多様なイベントが新たに開催され、特に報道関係者を意識した開催となっている感じがある。本来、市が開催するイベントは、市民が望むべきものを開催すべきであると考え。その開催の意義や目的が何なのか、市民のために本当に必要なものであるか疑問である。

また、イベントの開催に当たり、担当部署の職員は計画から実施に至るまでかなりの時間と労力を要しており、働き方改革が叫ばれている中、職員への過重な負担が懸念される。職員がその意義や目的を達成させることより、開催することだけに注力しているようにも感じている。多くの職員は疲弊しており、本来の業務に支障を来している状況も見受けられ、市民サービスの低下につながっているのではないかと危惧される。

市民にとって真に有益な施策を講じるため、現行のイベントが何のために行われ、市民に対してどのように役立っているか明確な評価が必要であり、職員の負担軽減と業務効率の向上を図ることが急務であると考え。

よって、総社市議会は、様々なイベントを市が開催する場合、その意義や目的を検証し、必要性を見極めた上で、運営方法も含め、縮小や廃止などの見直しをすることを強く申し入れる。